

センター合議に係る事後評価アンケート調査

【調査目的】

医療事故調査・支援センターでは、医療機関が医療事故調査制度の報告対象となるか否か迷った際、その事例について複数の医師、薬剤師、看護師等で合議を行い、判断に関する助言を行っている（以下、センター合議）。

今回、センターの助言が医療機関の判断にどのような支援となったか等の実態を把握し、センター合議の更なる向上に向けた示唆を得ることを目的に、センター合議依頼のあった医療機関を対象にアンケート調査を実施した。

なお、センター合議に係る相談用紙受理後、結果報告までは概ね10日を要している。

【調査対象および調査期間】

調査対象：医療事故調査制度を開始した2015年10月から2019年12月にセンター合議を依頼したすべての医療機関242施設（284事例*）

複数の事例を相談した医療機関は、2事例：23施設 3事例：8施設 4事例：1施設

調査期間：2020年3月25日～4月末

*1施設から複数の合議依頼あり、回答は1事例ごとに求めた

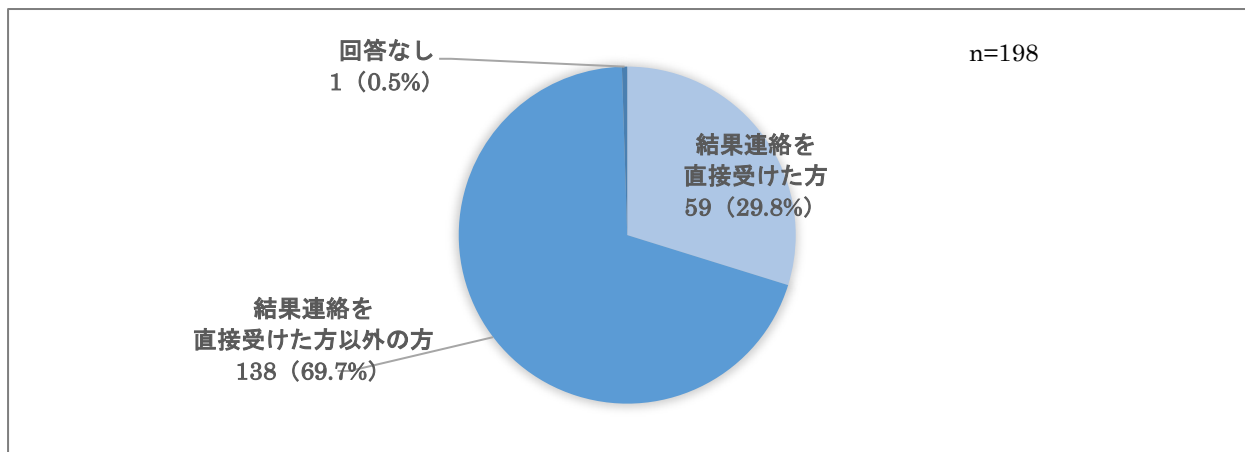
【回収結果】

・対象284事例に送付し、198事例回収（回収率：70%） 回収施設数としては173施設

年別回収率	配付	回収	回収率
2015年	27	19	73%
2016年	66	45	68%
2017年	75	51	68%
2018年	55	41	75%
2019年	61	42	69%
合計	284	198	70%

【回答者属性】

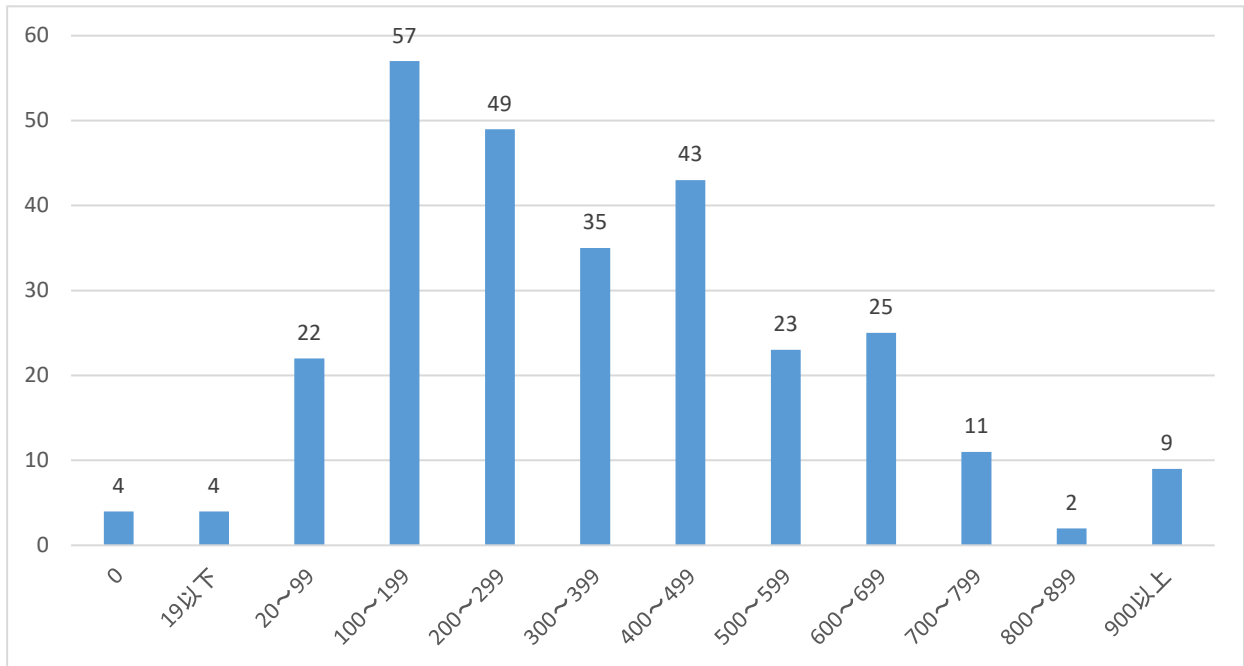
アンケート回答者	件数	回答率
結果連絡を直接受けた方	59	29.8%
結果連絡を直接受けた方以外の方	138	69.7%
回答なし	1	0.5%



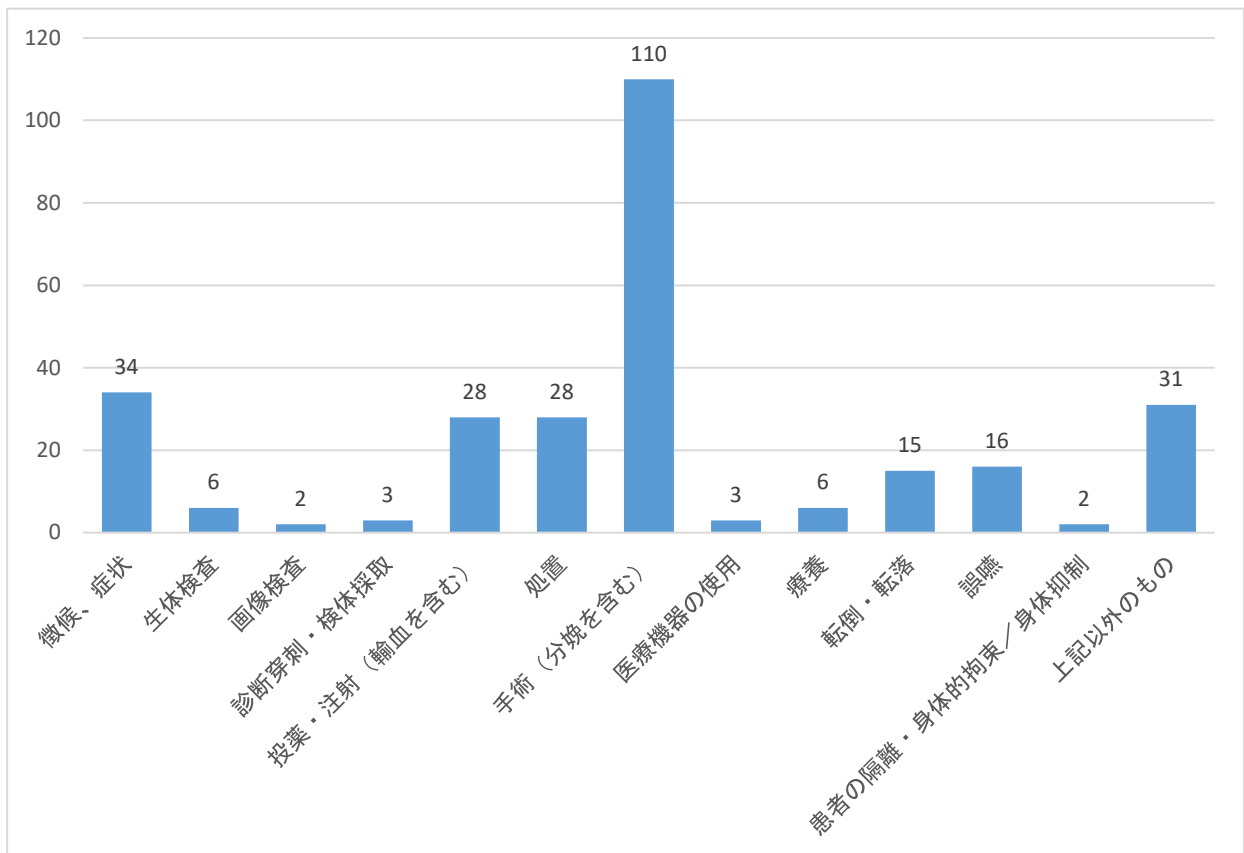
【参考】

対象284事例の傾向（センター合議を依頼したすべての事例）

①病床規模別

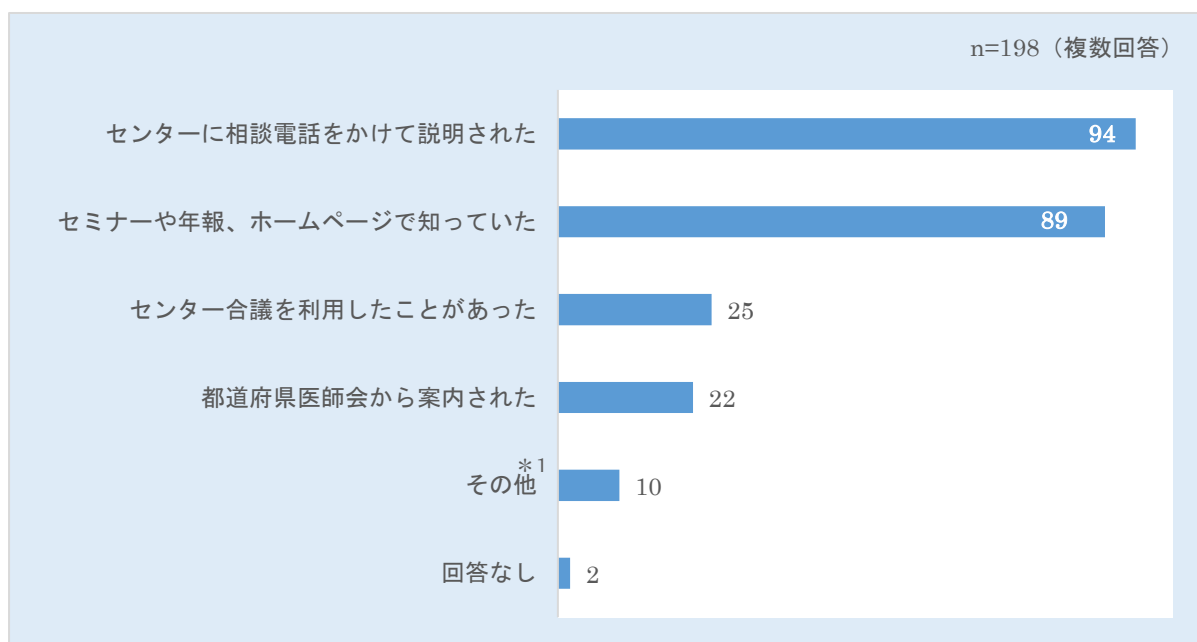


②起因した医療別



I. センター合議について

1. センター合議をどこで知ったか

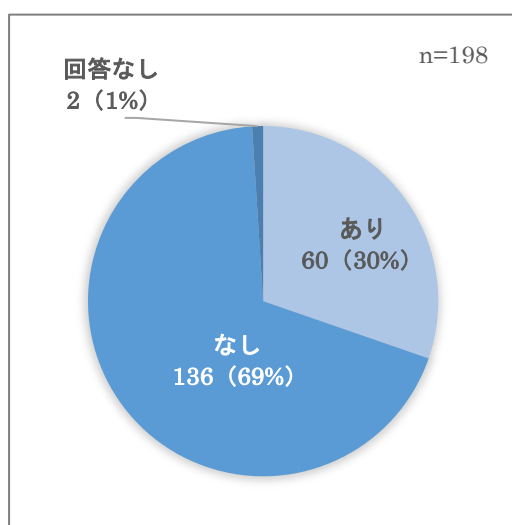


*1「その他」について (内訳)

その他 (10 件)	
医療安全対策マニュアル等の資料	3
国からの情報や事故調の講演	2
行政担当者	2
当時の担当者が知っていたが知った先は不明	3

II. 院内調査の経験について

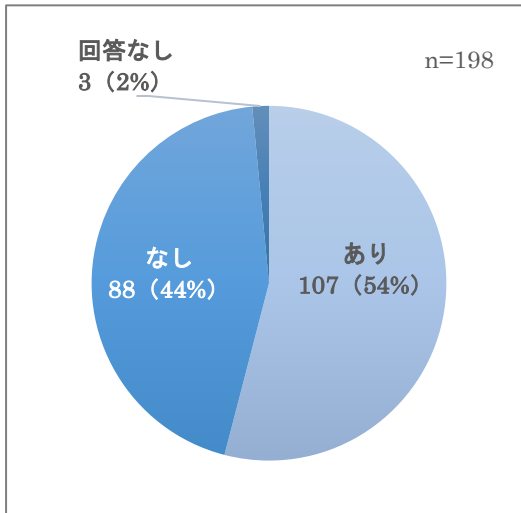
1. 本制度における院内調査の経験について



「あり」と回答した医療機関の外部委員が参加した調査の経験について

あり (60 件)	
外部委員が参加した調査の経験あり	44
外部委員が参加した調査の経験はなし	13
回答なし	3

2. 本制度外での院内調査、制度開始前の院内調査の経験について

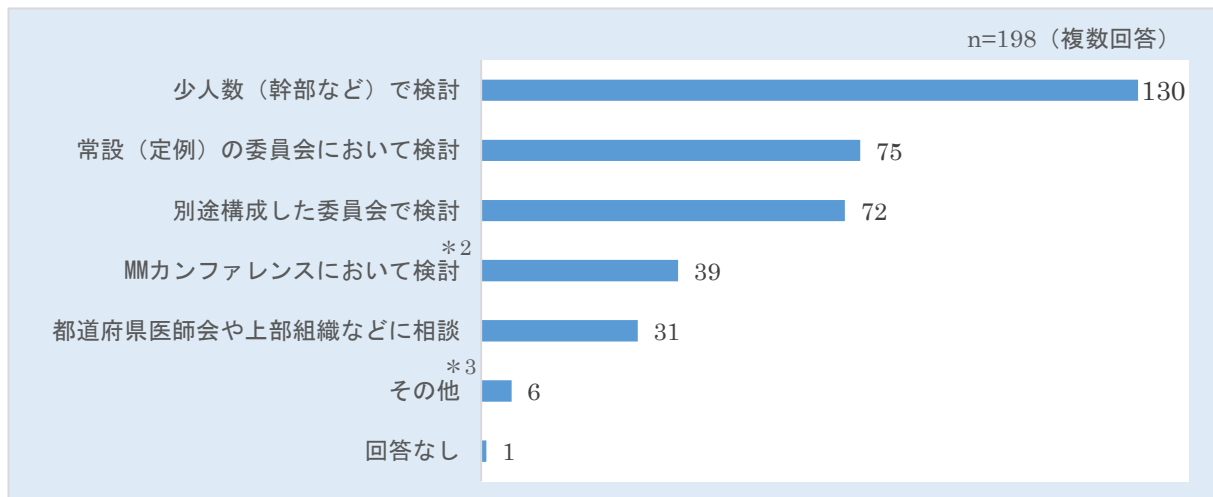


「あり」と回答した医療機関の外部委員が参加した調査の経験について

あり (107 件)	
外部委員が参加した調査の経験あり	53
外部委員が参加した調査の経験はなし	53
回答なし	1

Ⅲ. 当該事例について

1. センターに相談する前の当該医療機関での検討状況



*2 「MMカンファレンスにおいて検討」について（内訳）

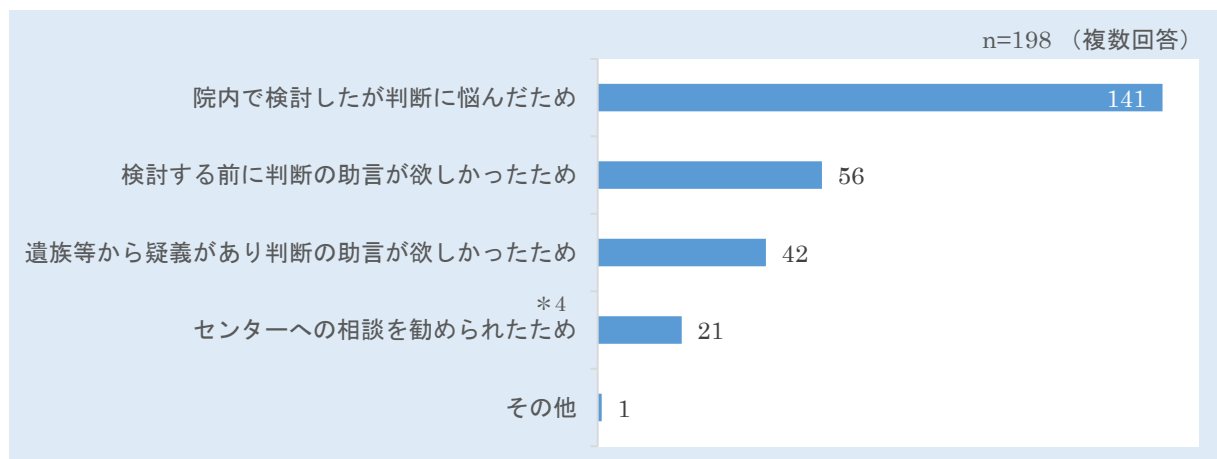
MMカンファレンスにおいて検討した (39件)	
単独の診療科内でのMMカンファレンス	11
複数の診療科内でのMMカンファレンス	24
両方（単独・複数）の診療科内でのMMカンファレンス	1
回答なし	3

*3 「その他」について（内訳）

その他 (6件)	
専門家に相談した	2
顧問弁護士に相談した	1
保健所に相談した	1
検討していない	2

※MM (morbidity & mortality) カンファレンス
重大な合併症が生じた事例や死亡事例を取り上げ、院内の多職種で原因や対策について検討するカンファレンス

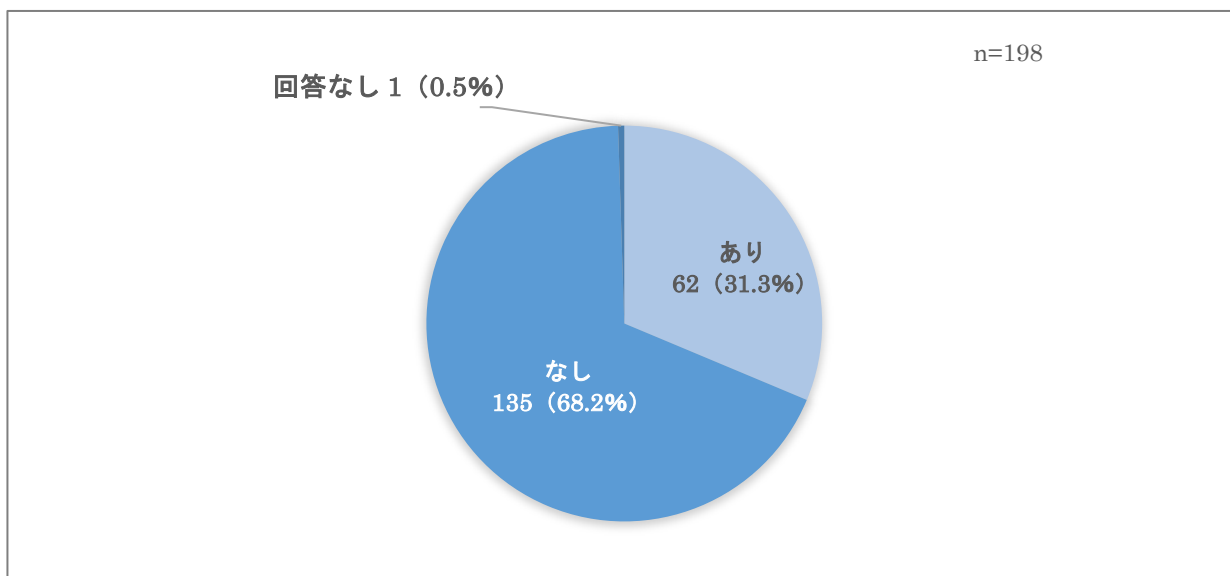
2. センターへの相談およびセンター合議を希望した動機（理由）について



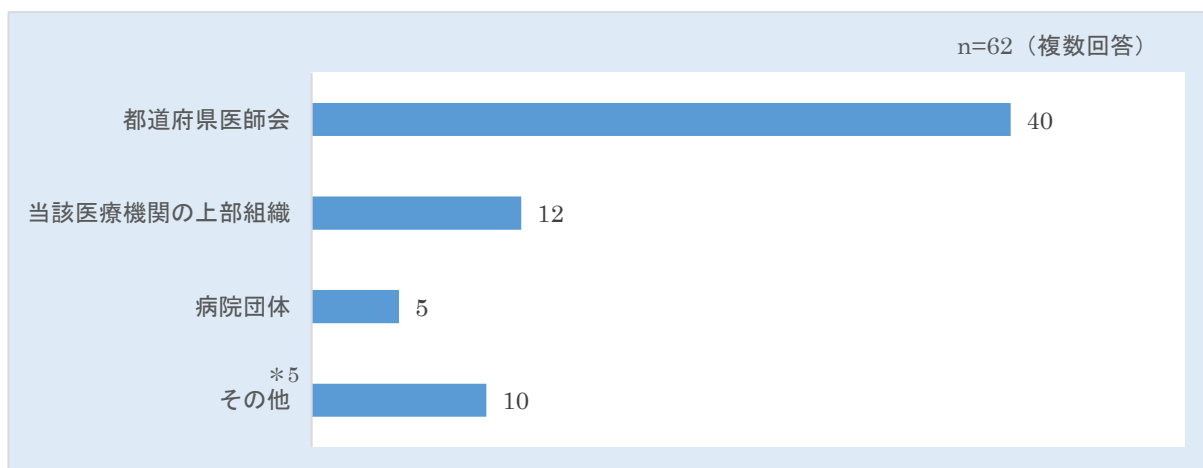
*4「センターへの相談を勧められたため」について（内訳）

センターへの相談を勧めた人(21件)		
院内	院長	6
	医療安全管理委員会	1
	主治医	1
院外	専門家	3
	都道府県医師会	1
	病院団体等	2
	弁護士	2
	保健所	3
	外部組織	1
	無回答	1

3. センター以外の相談先について



① 「あり」と回答した医療機関のセンター以外の相談先について



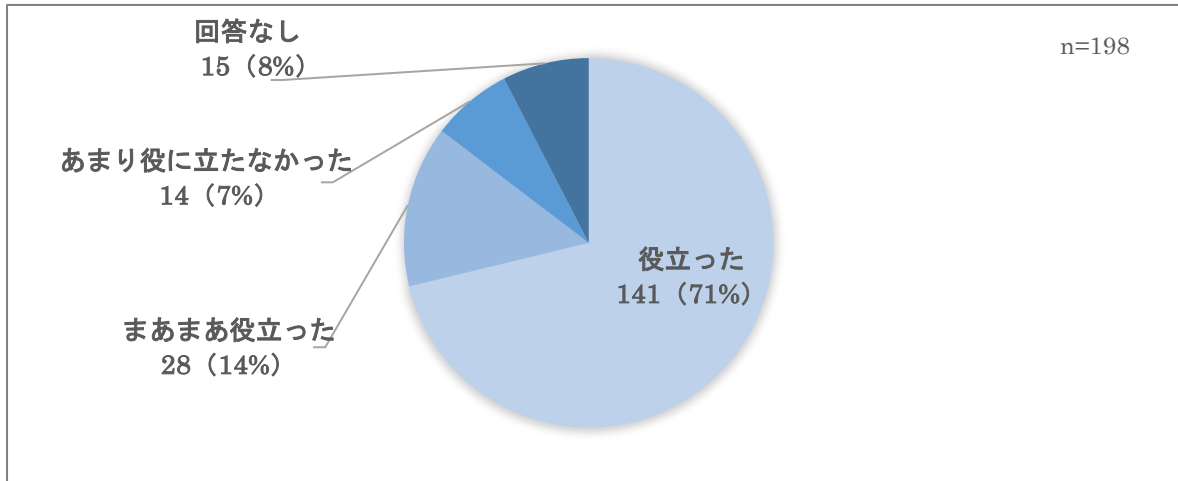
*5 「その他」について (内訳)

その他(10件)	
大学の専門家等	2
他病院の医療安全管理者等	4
顧問弁護士	1
地元警察	1
日本医療機能評価機構	1
保健所	1

4. 結果の助言を受けた後、最終判断までの検討プロセスについて（主な意見）

- 助言を受けて検討してから判断した
 - ・ 医療安全管理室や委員会で検討した
 - ・ 医師会と連携し外部委員を選出して委員会を開催して、最終的に院長が判断した
- 助言を受けて管理者（病院長）が判断した
 - ・ 病院長および医療安全管理者に報告し、「制度に該当しない」と判断した

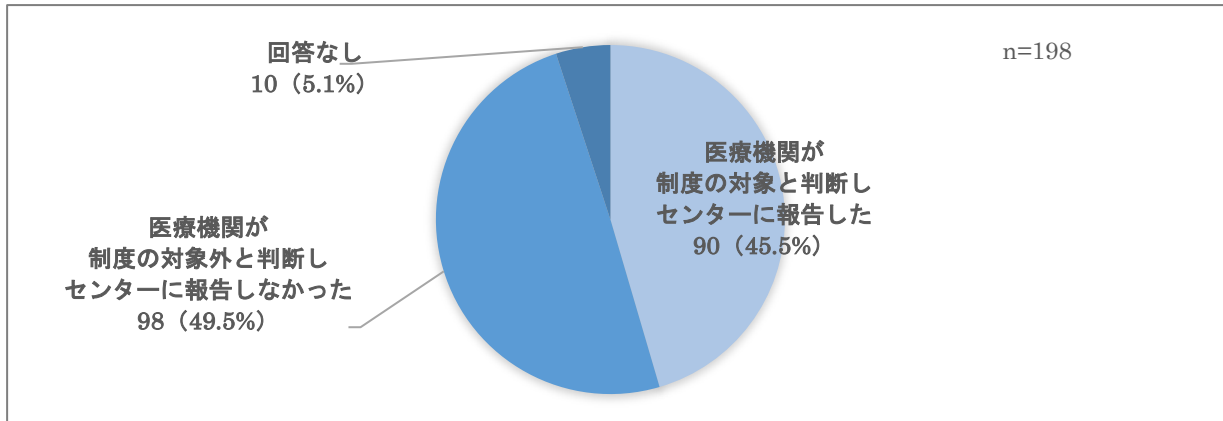
5. 合議結果は最終判断をする際に役に立ったか



上記理由について（主な意見）

- 役に立った、まあまあ役立った
 - ・ 制度開始後、初めての判断で迷っていたが解決した
 - ・ 第三者の客観的意見を聞くことができた
- あまり役に立たなかった
 - ・ 明確な判断が得られなかった
 - ・ 最終的な判断は管理者が決めてくださいと言われて結論がもらえなかった

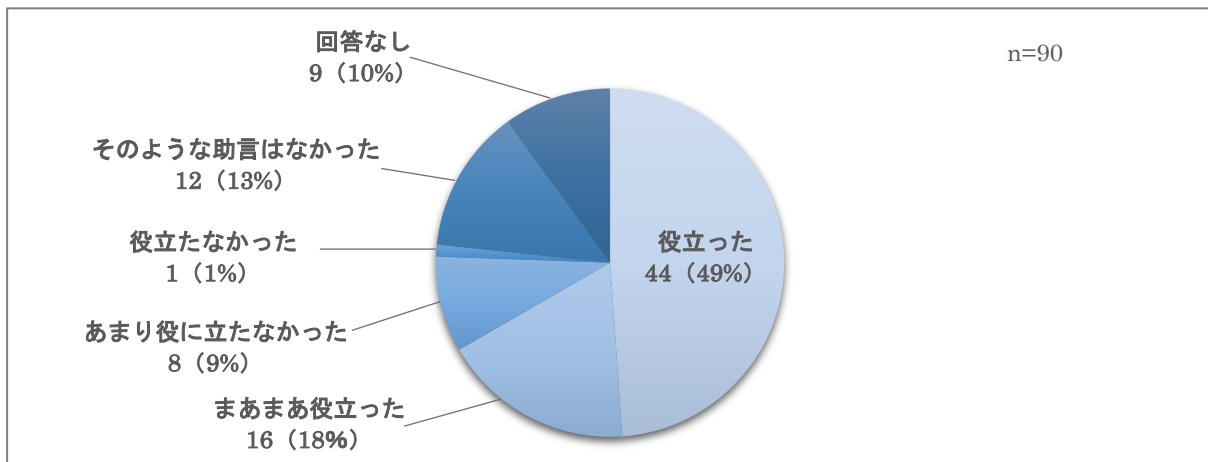
6. 当該事例の最終判断について



※四捨五入により合計が100%にはならない

①医療機関が制度の対象と判断し、センターに報告したと回答した医療機関への質問

質問内容：院内調査を進めていくうえで、検討する際のポイントや院内調査を行う場合の方法についての助言が役に立ったか



上記理由について（主な意見）

●役立った、まあまあ役立った

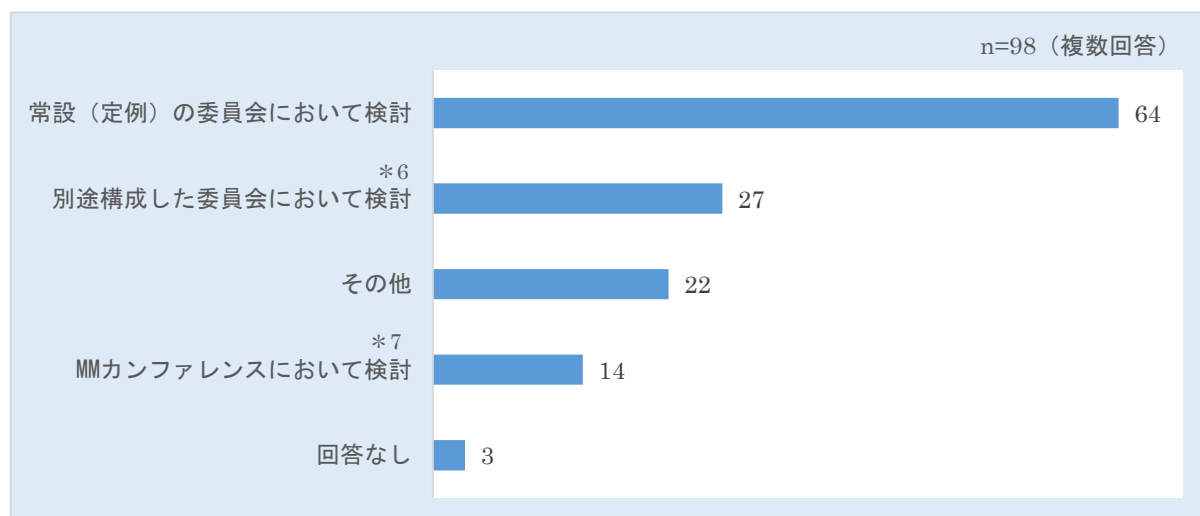
- ・ 院内の事故調査委員会を立ち上げる参考となった
- ・ 院内調査で明らかにすべき項目が明確になった

●あまり役に立たなかった、役立たなかった

- ・ 医療事故に該当するかどうかの判断のみに注目してしまったため
- ・ 外部委員は相談前に当院で決めていた

②医療機関が制度の対象外と判断し、センターに報告しなかった医療機関への質問

質問内容：医療機関が対象外と判断した後に院内で行った対応について



*6「別途構成した委員会において検討」について（内訳）

別途構成した委員会（27件）	
外部委員の参加あり	10
外部委員の参加なし	16
回答なし	1

*7「MMカンファレンスにおいて検討」について（内訳）

MMカンファレンスにおいて検討した（14件）	
単独の診療科内でのMMカンファレンス	3
複数の診療科内でのMMカンファレンス	9
両方（単独・複数）の診療科内でのMMカンファレンス	1
回答なし	1

IV. センター合議全般について（主な意見）

センターの対応について
<ul style="list-style-type: none"> ・相談から結果連絡までの対応がよかった ・助言が具体的でよかった
センターへの要望
<ul style="list-style-type: none"> ・センター合議を周知してほしい ・判断が難しかったので、Q&Aが増えるとよい
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・電話以外の方法でも結果を知りたい ・制度の対象となるか否かの判断が難しい